

関東審判講習会

22日(土)と23日(日)、関東審判講習会に行ってきました(私は受講したわけではなく、埼玉県開催だったため理事として、球場内のお手伝いをしてきました)。

寒い2日間でしたが、とても熱のこもった講習会でした(初日は、暗くなってからも座学の講義が行われ、夜まで実施されました)。皆さんお分かりだと思いますが、受講されていらっしゃる方々は野球の審判で生計を立てているわけではありません。別に仕事をされていて、その仕事の都合をつけてこの2日間の講習会に参加されているのです。

高校生(高校野球)のために・・・
本当に頭が下がります。

審判の技術向上はとても大切なことですが、私自身が高校野球の審判について感じていることは少々異なります。この2日間もアウト・セーフ微妙なプレーのジャッジを繰り返し練習する・・・というようなことが行われました。私もやや離れたところで「アウト」「セーフ」、プレーを観ながら心の中でジャッジをしていましたが、かなりの割合で間違えているのです。

本音を言わせていただくと・・・人間(瞬時に判定しなければならない場合は特に)結構間違えますよね・・・問題はそのジャッジを頑なに変えないことなのではないでしょうか・・・曖昧なプレーな場合、ジャッジが個人に任されるのではなく、審判皆が集まって、最終的なジャッジが行われる形の方が良いのではないのでしょうか？大事なことは最終的に正しいジャッジが行われることであり、複数で(審判皆で)判断(決定)しました・・・(映像等で確認できないのであれば)これが一番説得力のある形なのではないかと思います(「教育」という観点からも(誤審がそのまま流されるのではなく)そのような形が望ましいかと・・・)

いよいよシーズンがスタートします。
審判の方々にも注目してみてください。

OBと合同練習(24日)

オフシーズン、OBと一緒に練習する日を毎年必ず設けています。何度も言っているように、高校生というのはどうしても同じ年代とばかり過ごすこととなり、様々な年代の方との交流が乏しくなる傾向があります。この日、年長者は私(50歳)より先輩のOB、ヤングはOBの息子さん(野球少年)が来てくれたおかげで小学6年生と、年齢層の幅広い合同練習となりました。



素晴らしいと思いませんか？

何十年も野球をしていて何を得たか・・・

「仲間」を得た。私は胸を張って言葉にすることが出来ます。

OBの皆さん、現役生が大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

(OB皆さんの筋肉痛が心配です・・・笑)

日程の追加

練習試合が追加されました。

3月12日(水)浦和学院高校(午後市高で)

練習試合初戦が対浦学となりました。

市民大会(コールド負け)のリベンジをしたい
と思います(笑)。